

筑波経済月報 100号の 発刊にあたって



株式会社筑波銀行
代表取締役頭取
生田 雅彦

平素より格別のお引き立てをいただき、誠にありがとうございます。

また、新型コロナウイルスに感染された方々やそのご家族、さらに、その影響を受けられた皆さまに対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

さて、おかげさまで「筑波経済月報」は、本号にて創刊100号を迎えることができました。これもひとえに、ご愛読いただいている「筑波ふれあい倶楽部」会員の皆さま、お忙しい中でも取材に応じていただいた企業や自治体の皆さま、貴重な原稿をお寄せいただいている専門家の方々などの多大なるご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

2013年の創刊から8年、この間に世の中は大きく変わりました。東日本大震災からの復興が進んできたところで新型コロナウイルス感染症が大流行し、私たちの日常生活や地域経済は大きな痛手を受けています。その影響もあり、デジタル化や働き方改革などの必要性が急速に高まっており、こうした流れに対応していくための知識や技術、サービスなどへの需要が高まっています。

そのため「筑波経済月報」は、新しい時代に対応していくための情報を分かりやすく提供する情報誌としての役割を強化するとともに、筑波ふれあい倶楽部会員の皆さまの情報を発信する機能の強化に取り組んでまいります。

本誌をより皆さまのお役に立つものとしていくため、今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。